

室内にある小塔の五重塔

都道府県	塔の名称	指定(構造)	所在地	年代等	高さ等	基壇	縁・高欄	扉窓	内部	組物	中備	軒	屋根	相輪	特徴
奈良県	元興寺(極楽坊)五重小塔	国宝 S27.3	奈良県奈良市中院町11	奈良時代後期 710~793	5.60m		2層以上組勾欄	初層中央間に扉窓 脇間連子窓	初層内部心柱 四天柱	三手先	間斗束4、5重にはない	二軒繫垂木	木瓦葺		収蔵庫に安置 2層以上は四天柱なし 各層とも等間
奈良県	海龍王寺五重小塔(室内)	国宝 S26.6	奈良県奈良市法華寺町北町897	奈良時代前期 729~766	4.01m		2層以上組勾欄	初層吹き放ち	内部を造らず	三手先		二軒繫垂木			西金堂に安置 柱間の通減は 現存五重塔中最大
京都府	教王護国寺(東寺)五重小塔	重文 S30.6	京都府京都市南区九条町1	鎌倉時代初期(1240)	1.61m	壇上積基壇風	初層擬宝珠勾欄、2-5層組勾欄	中央間入口、脇間連子窓風	初層内部四天柱 仏壇 彩色	三手先	間斗束	二軒繫垂木	木瓦葺風		2層以上は内部造らず
京都府	教王護国寺		京都府京都市南区九条町1 東寺博物館内	江戸後期(1751~1829)	1.48m	東寺博物館内 (寺で伝では江戸時代のものだが詳しい由来は不明)									
岐阜県	厚見寺		岐阜市大宮町2丁目18 岐阜市歴史博物館内	昭和60年(1985)	3.19m	岐阜県歴史博物館内 奈良国立文化財研究所宮本長二郎氏が推定復元設計をした1/10五重塔模型である。									
長野県	諏訪大社上社	復元模型	長野県諏訪市中州宮川1	昭和43年(1968)	3.0m	諏訪大社上社本宮		高さ38mの塔が明治元年に取り壊された。							
東京都	谷中天王寺		東京都調布市深大寺元町5-15-1	昭和35年(1960)	3.0m	浮岳山深大寺(じんだいじ)									
山口県	霊光院(地蔵院)	木造 山口市指定文化財	山口市名田島向山中3361	昭和27年(1952)	2.23m		初層擬宝珠勾欄付き縁、2-5層も擬宝珠付き勾欄			三手先					江戸時代文政5年(1822)霊光院から移動 防府天満宮五重塔(未完)の1/20の模型
東京都	高幡山明王院金剛寺		東京都日野市高幡733		1m強	2基の五重塔									
青森県	青龍寺		青森県青森市		1m強	1/30の精密ひな形模型									
秋田県	夢の家『北原』		秋田県本荘市	昭和55年	1m強	1/10の模型									

法華寺=奈良・海龍王寺の隣の法華寺に、本堂他の解体修理を施工した加藤久雄棟梁が、昭和54年に奉納した(海龍王寺の)同寸大復元模型がある。
=東寺五重塔十分の一小塔(4.1m)の制作=高木敏雄棟梁が3年4ヶ月かけて制作(平成8~11年) 36kg。

元興寺(極楽坊)五重小塔(国宝・奈良県)



海龍王寺五重小塔(国宝・奈良県)



教王護国寺五重小塔(国宝・京都府)



霊光院五重小塔(市文・山口県)



元五重塔

天寧寺塔婆(昭和24年、重要文化財)
曹洞宗 広島県尾道市東土堂町
大きさ:現状高さ25m
建築年代:南北朝 嘉慶2年(1388)
元禄5年(1692) 三重塔に改造
聖寿禅寺地蔵堂
臨濟宗 岩手県盛岡市北山2-12-15
大きさ:五重塔の高さ35m(総擲造)
建築年代:江戸後期 文化8年(1811)
明治初年、初重(地蔵堂)に改造

三ヶ日瓦塔 静岡県引佐郡三ヶ日町
瓦塔(レプリカ)



聖寿禅寺地蔵堂

元五重塔、青銅・石造塔、etc.

青銅五重塔

大徳寺 小塔 青銅製 宮城県重文 「横山不動尊青銅五重塔」
宮城県津山町横山字本町 明和2年(1765) 3.55m
約1.8mの石の基座の上。仙台の鑄工師、高田定四郎慈延、早山彦重郎春次、早山重八郎一次により、鉄山策牛和尚の発願で建立されたとのこと。
白魚山大徳寺は、横山不動尊として有名であり、この塔も通常は「横山不動尊青銅五重塔」として知られる

石造五重塔

明泉寺 石川県鳳至郡穴水町 室町前期(1333~1392) 6.78m
妙巖寺 愛知県豊川市豊川町
白浜御苑 和歌山県西牟婁郡白浜町 6m
宝塔寺 秋田市 貞享2年(1685) 9m(一辺1.85m)
注:見方(時代、残っている形、大きさ等)によってはそうとも言えなくもない、というもまで含めると、結構な数が残っている。

昭和戦後建立の特殊塔・略式塔

加賀寺金色(八角・五重塔) 石川県加賀市作見町

戦災等で焼失した五重塔(多くあるが三村の知り得る範囲)

丸山(増上寺) 34.178m
谷中天王寺(感應寺 護国山天王寺)
(露伴の小説『五重塔』で有名。1644年落成、1772年焼失、1791年再建、1957年(昭和32年)塔内で男女の心中で放火、焼失)
本門寺(富士宮市)(明治43年、改修中に焼失)
諏訪大社・上社神宮寺 長野県(延慶元年(1308)五重塔があったが、神仏分離令により明治元年(1868)12月取り壊された)
唐招提寺 奈良県(安政6年(1859)焼失、48m)
元興寺 奈良県
道明寺天満宮 大阪府富田林市

昔あったと推測される(限りなく数多くあるが三村の知り得る範囲)

西大寺 奈良県(基壇が現存している)
東福寺 京都府(古図に描かれている)
太宰府天満宮 福岡県(絵図に描かれている)
広浜神社 滋賀県彦根市・普光寺町
新堂廃寺 大阪府(飛鳥時代、31~35mの大五重塔と推測)

五重塔を建立するか構想中

龍蔵寺 山口県山口市吉敷1750
天王寺 東京都台東区谷中
観音寺 京都府京田辺市普源賢寺

建立計画中止・中断の塔

大須観音 愛知県名古屋市中区大須
西大寺 奈良県奈良市西大寺